

研究課題：小児霰粒腫における眼科臨床所見についての後ろ向き研究

1. 研究の目的

霰粒腫（さんりゅうしゅ， Chalazion）

霰粒腫とは、まぶたの内側にあるマイボーム腺（脂質を分泌して涙の蒸発を防ぐ働きを持つ器官）が詰まってしまい、肉芽種と呼ばれる塊ができる病気です。当院では手術の検討も含め、霰粒腫の診療にあたる機会が多くあります。

今回私たちは眼科で霰粒腫と診断された小児における眼科所見の特徴を検討し、今後の診療に役立てるための研究を企画しました。

2. 研究の方法

当院眼科で2017年1月1日から2019年12月31日までに霰粒腫と診断した患者様のデータを使用させていただきます。

3. 研究期間

2017年1月1日から2019年12月31日

4. 研究に用いる資料・情報の種類

上記に該当する患者様の眼科臨床所見・治療内容等を調べまとめます。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切わからないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この試験で得られたデータが本試験の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究責任者：神部 友香

研究施設名：埼玉県立小児医療センター 眼科

連絡先：330-8777 埼玉県さいたま市中央区新都心 1-2

電話：048-601-2200

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の

保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2020年6月20日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）